

令和3年度世界農業遺産住民提案型地域活動支援事業 採択申請団体及び事業

申請団体	団体活動	事業名	事業内容	事業費	補助額
清川里山まつり 実行委員会	実行委員会では毎年2月末の日曜日に、梅まつり及び里山まつりを開催している。	世界農業遺産 みなべ・田辺の梅システムのPR	清川公民館駐車場山側に、南高梅やカシの芽や種々の絶滅危惧種を描いた丸太オブジェを建立する。	250,000	200,000
南部梅林糸川研究会	平成26年に梅の里観梅協会役員が主催でイベントを実施して以来、退会後において「糸川研究会」と名称を付けて、毎年2回程度のイベントなどを開催している。	南部梅林アル婚ツアー	観梅時期に、午前中は南部梅林の観梅コースを歩きながら梅農家の語り部(梅システムマイスター)からガイドブックに載らない話を聞きながら交流を図り、午後からは梅ジャム作りを体験し、「みなべ・田辺の梅システム」の魅力を再発見します。	240,000	200,000
みなべ梅郷クラブ 蜜源植樹班	・ニホンミツバチ保全のための植樹活動 ・ニホンミツバチの巣箱を製作し、町内各地に設置	蜜源樹の植樹	梅の耕作放棄農地約10aほどのところに、ミツバチのエサや住処となる蜜源樹にウバメカシの苗木を植樹して、ニホンミツバチによって良い環境を作る。	210,000	200,000
みなべ川森林組合		備長炭原木(ウバメカシ)を 後世に繋げる植樹活動	ウバメカシの植樹は2年目にあたるが、今年度も引き続き植樹活動を通じ、新たな地域住民や若者達にも世界農業遺産における薪炭林の役割と価値について学び、世界農業遺産と恵まれた環境を自らの手で育て守るため、自然林に近いウバメカシの苗木の植樹活動を行う。	200,000	200,000
Bee Forest Club みなべ百年の森	・ニホンミツバチの保護活動 ・ニホンミツバチ減少の原因研究 ・ニホンミツバチ愛好家の交流や情報交換 ・会員のニホンミツバチの巣箱管理	ニホンミツバチ用巣箱の 製作と設置活動	梅栽培に不可欠なニホンミツバチを守るため、ワークショップ方式で団体メンバーが講師となり、この活動と共感する地域住民の参加者らと木製巣箱40箱を製作のうえ設置し、ニホンミツバチの生息状況を観察する。	200,000	200,000
秋津川振興会	平成0年に地元関係者を中心として設立された組織で、田辺市紀州備長炭記念公園の指定管理者として、紀州備長炭はもとより梅や地元産品の振興やPR、販売促進にも取り組んでいる。	紀州備長炭関係資材の展示による 世界農業遺産のPR事業	紀伊田辺駅待合ホールにおいて、紀州備長炭を使用した展示品(オブジェ・炭琴)を設置し、展示されている梅の写真とあわせて世界農業遺産のPRを行う。	200,000	200,000
(株)日向屋		紀州南高梅を活用した商品開発	・紀州南高梅を活用したゼリーの商品開発を行う。 生産者育成の観点からデザイン等は地域と連携し作製する。	490,000	100,000